

富士の子だより 第5号

静岡県立富士特別支援学校

令和6年3月8日

今日に満足し、明日を楽しみにする生活を

校長 滝尾 彰彦

富士特別支援学校保護者の皆様、そして、大淵地区の皆様、こんにちは。今年度も教育活動を進めるに当たり、たくさんの御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本日、3月8日は本校高等部の卒業式でした。生徒たちは12年間の学校教育を終え、それぞれの進路先に向かって巣立っていきました。卒業生にとって高等部の3年間は、コロナの真ただ中で、5類に位置づけられたとはいえ、さまざまな制限のあった高等部生活でした。しかし、卒業していく生徒の姿からは、毎日の学校生活の中で仲間と共に学び続けてきた充実感と自信、4月からの新しい生活に向けた希望が感じられました。19日には小学部と中学部の卒業式があります。子どもたちは誇らしい気持ちと新しいステップへの希望をもって卒業していくと思います。

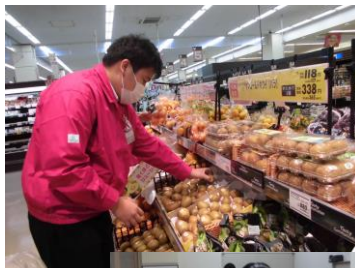
「今日に満足し、明日を楽しみにする生活」という言葉があります。私たち教職員は、子どもたち一人一人の学校生活がこんな生活になるよう努め、その生活を発信していきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様には、ぜひ本校の子どもたちを、本校の教育活動を知っていただき、一緒に子どもたちを育てていきたいと思っています。



本年度の進路先 高等部3年生の進路先が決定しました。

【令和5年度進路先】 卒業生47名

- 企業就労：3名（小売、事務、清掃）
- 就労移行支援事業所：1名
- 就労継続支援A型事業所：7名
- 就労継続支援B型事業所：21名
- 生活介護事業所：10名
- 職業訓練校：1名 ○施設入所：2名
- その他：2名



高等部作業学習再生事業班の取組が、県SDGsアワード特別支援学校の部『教育長賞』と『企業賞:リコージャパン静岡支社賞』を受賞しました。

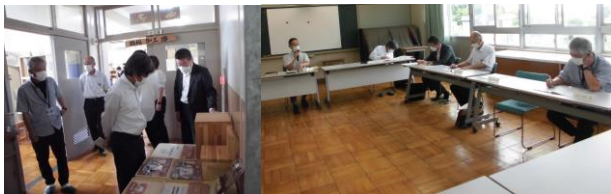


目標や夢に向かって頑張ってほしいと思います。

学校運営協議会

学校運営協議会制度とは学校と保護者、地域の方々などの関係者が力を合わせて「地域とともにある学校づくり」を進めていく仕組みです。

今年度は年3回行いました。委員さんには、会以外にもTYUONの参観や商工フェアに参加できるようにサポートしていただき、保護者としての御意見をいただくなど、それぞれの立場から、子どもたちのために学校運営に携わっていただきました。



『 県研究指定研究発表

～特別支援学校における福祉避難所の運営～ 』

2月22日に県研究指定校研究発表会が行われました。本校は、昨年度より特別支援学校における福祉避難所の運営について研究を進めてきました。今年度は、福祉避難所の運営ができるようマニュアルを作成し整えました。

災害時にこの福祉避難所が本校の子どもたちや御家族の一次避難所として機能するためには、職員と避難者の方とが協力して避難所を運営していく必要があります。

今後、作成したマニュアルを使用した訓練を実施し共有していきたいと考えています。





誰もが幸せを感じる学校

～もっと学びたい 笑顔いっぱい～



小A1・2年

『新聞紙で遊んだよ』



小A3・4年

『回転ボードに
乗ったよ』



小A5・6年

『僕が植えたゴーヤ
大きくなったよ』



小B1年

『みずのくにて
あそんだよ』



小B2年

『カシャカシャ
ふわふわ～』



小B3年

『たくさん走ろう!』



小B4年

『給食だいすき♡』



小B5年

『ハンドベルで
合奏をしたよ』



小B6年

『お茶どうぞ』



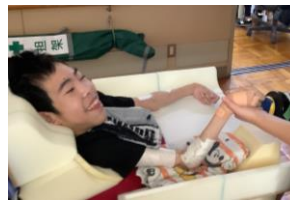
中A1年

『秋の花を
見つけよう』



中A2・3年

『ごみ回収をしよう』



中B1年

『製紙工場見学』



中B2年

『ドラムサークル』



中B3年

『修学旅行：
「駿府の工房 匠宿」で
の藍染体験』



高A1・2年

『美術：
17歳の私』



高A3年

『日本を知ろう
～和服～』



高B1年

『校内実習』



高B2年

『防災学習：
段ボールベッド体験』



高B3年

『保健：命の授業』



訪問教育

『敬老の日
～どら焼き作り』

